

季刊 Kamiaraiso

上荒磯 佑哉。名もなきクリエイターである彼に突撃インタビュー！！

現在、福岡県で作家になる勉強をしている上荒磯佑哉。

彼の、この数か月間の成長を本人のインタビューを交えて全て収録！

「クリエイター佑哉とは？」

佑哉「最近は、小説以外の者を作っています。やっぱり、高校生みたいにバンバン作れませんがその分、良作を作れるように頑張っています」

記者「小説意外だとどんな物を作っているんですか？」

佑哉「そうですね。最近は、キャッチコピーや Twitter 広告なんかを作っています」

記者「せっかくなので、見せてくれないか？」

友哉「力作としてはこういうのですかね」

未だ眠りにとられし級友よ、ここに集え

居眠りする貴方の気持ち私が代弁します。
眠ってしまう罪悪感、一緒に乗り切り
ましょう。眠っても良いんです！

大事なのはその後のアフターケア！

さあ貴方も！あと腐れのない爽やかな居眠りを！！

記者「これは、また独特な物を作りましたね」

佑哉「えーただし、最初からこういう物が作れたわけではないんですよ」

「作品の軌跡」

記者「先ほど最初から作れた訳ではないと言っていましたがどんな物を最初は作っていたんですか？」

7	公募タイトル	内容(長い場合にはリンク)	締切日	応
8	北区内田康夫ミステリー文学賞オリジナルキャラクター-私の名前を探してください	シルコン 平塚幸つるあかにちなんで	7月31日	
9	映画5町分会派い羽根募金イメージキャラクター		7月31日	
10	球の標語	税金で 掘り費の 未来	8月10日	
11	コンプライアンス違反	知りたがる その好奇心にも 線引きを		
12		貴方はさ… その一言は 凶器です		
13		見るものは 他人じゃなくて 自分自身		
14	心がにどあたたまる	父親し、それがわかるの、父になる時 A「やっぱり、お風呂上りにはコーラを…ってコーラがない！」 ナレーション「そんな時は、橋木の牛乳を飲もう」 A「誰？」 ナレーション「そんな事はどうでもいいですからどりあえずこれを」 飲ませる ゴクゴクと効果音 A「おいしい。けど…これ普通の牛乳じゃないよね」 ナレーション「はい、これは、橋木のレモン牛乳。実は、橋木には色々な牛乳があるんですよ」 A「へー知らなかった」 ナレーション「貴方も橋木の牛乳を！」		
15	berry good cm 2022			
16	歯の標語	歯の色で 決まるあなたの 第一印象		
17		扱った歯の 本数で分かる 成長度		
18		扱った後 空いた空間 埋められるまで あと何日？		
19		はっはっはっ 笑うために 歯は歯という		

佑哉「こういう物です。最初の頃は、なかなか思い浮かばず何時間たっても目標の数まで到達できなかったんです（笑）」

記者「他にはどんな物を？」

佑哉「そうですね、最初の福岡の名所調べでは、不確定な情報を入れるなどという評価を下されました」

記者「なるほど、佑哉さんも最初は苦難の連続だったと。それで、今はどのような成長を感じたと考えていますか？」

佑哉「そうですね先程言ったとおり、前は中々たくさん量の作る事が出来なかったのですが、今は目標の量まで達する事が出来るようになりましたね」

記者「では、その成長が見える作品の数々がこちらになります」

「大学じゃここまでではしてくれなかった」

「小さい時の夢がかないました」

という声が、多く届いています。

本気で夢をかなえたいと思っている貴方にこそ来てほしい！

夢は諦めるものではなく、かなえるもの！

A「やっぱり。お風呂上りにはコーラを……ってコーラがない！」

ナレーション「そんな時は、栃木の牛乳を飲もう」

A「誰？」

ナレーション「そんな事はどうでもいいですからとりあえずこれを」

飲ませる

ゴクゴクと効果音

A「おいしい。けど……これ普通の牛乳じゃないよね」

ナレーション「はい。これは、栃木のレモン牛乳。実は、栃木には色々な牛乳があるんですよ」

A「へー知らなかった」

ナレーション「貴方も栃木の牛乳を！」

スキンケアをしないのって、老後のためにお金を貯めないのと同じなんですよ

記者「作品の説明を求めても良いでしょうか？」

佑哉「かまいませんよ。上と下の作品は Twitter 広告で作った物です。上は CM を意識して作りました。お題は専門学校です。下はスキンケアについて、見た人がハッとなる感じに作りました。」

記者「確かに、どちらも見た人がハッととなりますね。それで、真ん中のはどういう意味が？」

佑哉「それは、栃木の牛乳のラジオ CM のやつです。栃木の牛乳を飲んだことがなかったので苦労しました（笑）」

記者「飲んだ事がない物を CM にするのに抵抗はなかったんですか？」

佑哉「よく知らない物を紹介するのは一番最初にしたのでそこまで抵抗はなかったです」

「最後に」

記者「今日は貴重なお話をしてくださりありがとうございます。最後になりますが、これからの意気込みを聞いても良いでしょうか？」

佑哉「そうですね。確かにこの数か月、成長は感じていますがまだまだ自分の目標、在学デビューには遠いのも確かです。なので、これからも日々精進で頑張っていきたいと思います。」

記者「なるほど。ありがとうございます」

季刊 Kamiaraiso

2024 年 7 月 4 日 発行

著作 上荒磯 佑哉

インタビュアー 上荒磯 佑哉